



水土里情報を活用した多面的機能支払活動の広域化について紹介します。

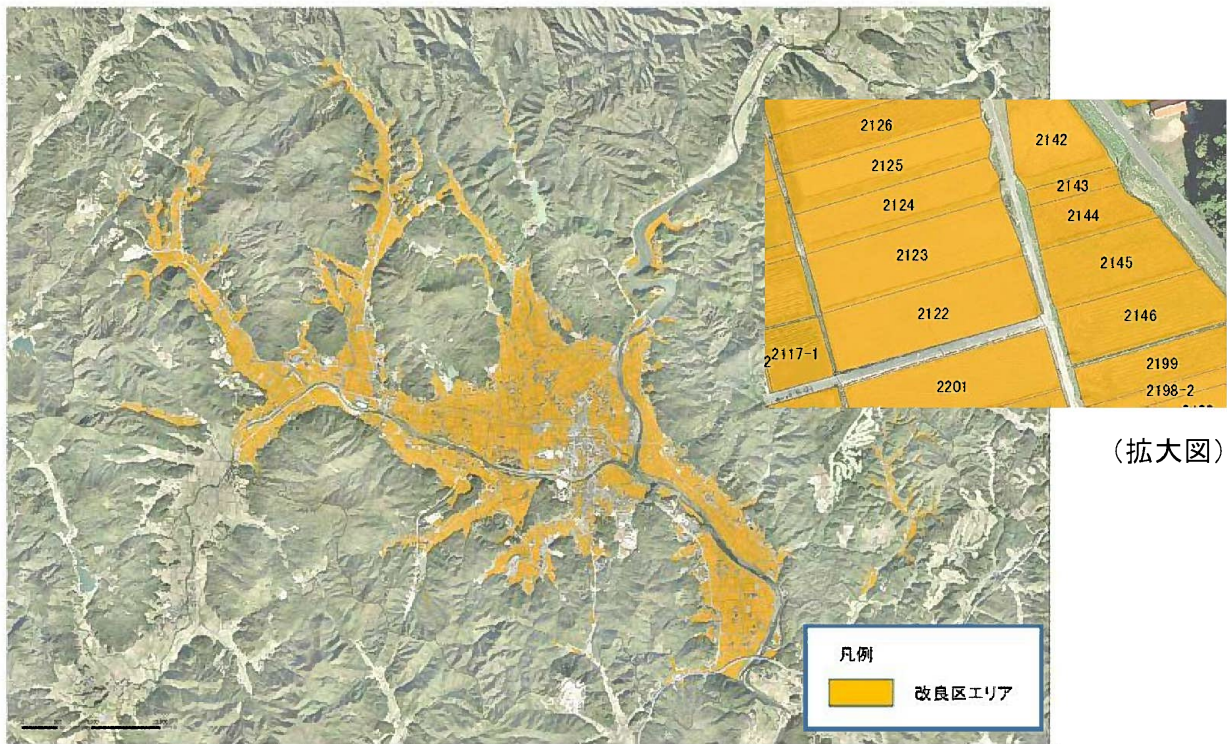
(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット山口

取組概要

内容：土地改良区が管理している土地原簿の地番と水土里情報の地番データとの突合結果を着色し、土地改良区エリア図を作成した。
また、県内の多面的機能支払活動組織の活動エリア図を作成し、土地改良区エリアとの重ね図を作成した。

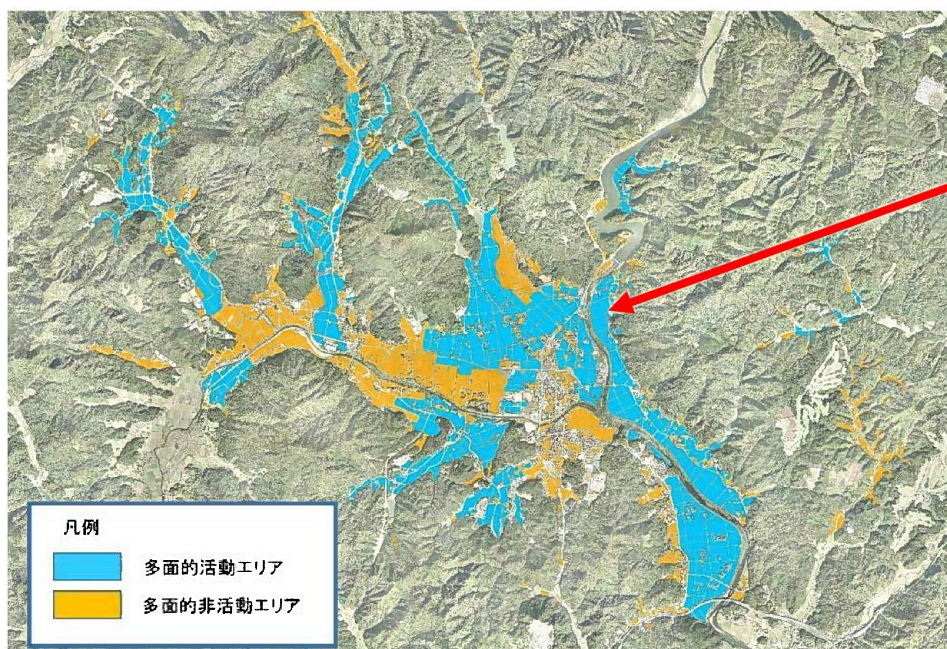
経緯：従来の水土里情報では土地改良区の外周を囲ったエリア図はあったが、地番レベルのエリア図はなかった。
また、土地改良区エリア内での多面的機能支払活動範囲を把握し、広域化を推進するための重ね図が必要になった。



(土地改良区エリア図)

期待される効果

- ①土地改良区の地番レベルの範囲が確認できる。
- ②現在徴収している土地改良区賦課金対象地番の把握。
- ③台帳(紙)で管理していた土地原簿の電子化。
- ④多面的機能支払活動組織の広域化推進に利用。



青色が
土地改良区エリア内の
多面的活動エリア



広域化の
推進

(土地改良区、多面的活動エリア重ね図)

今後の活用予定

平成28、29年度で県内のほぼ全域の土地改良区エリア図面を作成予定。
土地改良区に導入している水土里システムにエリアデータを登録し、今後は
水利施設等管理システムの整備、利活用が期待される。

GISシステムのバージョン情報

ArcGIS 10.3.1 for Desktop

■お問い合わせ先

山口県土地改良事業団体連合会 事業部管理課

083-933-0034

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(大坪、沖)

03-6744-2201(直通)